

年頭所感（山口経済レポート）

日本銀行下関支店長 辻 信二

あけましておめでとうございます。新春を迎えるに当たり、謹んで挨拶を申し上げます。

昨年は、一昨年までの輸入物価上昇を起点とする財の物価上昇が累積した結果、消費面では、生活防衛の動きが依然続きました。もっとも、賃上げの広がりが消費を底堅いものにするとともに、価格転嫁の広がり、旺盛な設備投資需要を背景に、企業収益は改善し、県経済は緩やかに回復しました。

昨年6月に当地に着任して以降、県内のご関係者との意見交換の機会を数多く頂きました。その中で、構造的な人手不足など厳しい環境においても、これに適応して、将来の戦略を確りと描き、着実に実行していく企業が、県内に多く存在することを実感し、大変心強く感じました。こうしたご努力の積み重ねが、県経済を力強く発展させる原動力になると確信しています。日銀下関支店の活動が、少しでも皆様のお力になれるよう、職員一同、取組んで参ります。本年も宜しくお願いします。